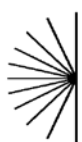


産総研と地域企業

産業振興で連携



セリア粒子採用、測定30秒

新コスモス電機

ガスセンサー

新コスモス電機はガスセンサーを独自開発し、家庭用ガス警報器、ガス検知器、工業用ガス警報システムなどに応用展開するメーカー。超高感度ガスセンサーによりおいが評価できることを見だし、世界に先駆けてニオイセンサーを実用的に検知しなくてはな

化しないが、これまでのセンサーは感応膜に酸化亜鉛を使用していたため応答性が悪く改善が望まれていた。一方、産業技術総合研究所では、セリアナノ粒子を用いると応答速度が極めて速い酸素センサーが実現できることが見いだされ、当社

開発期間短縮

新規材料をガスセンサーに用いる場合、品質保証の根拠となる検知メカニズムの解明が必須となるが、これに

産総研無機機能材料研究部門リーダーリキッド集積グループ長

伊豆 典哉

一言メッセージ

新コスモス電機は、産総研の持つ高速応答ガスセンサー装置開発技術と見事に融合し、新しい測定器を商品化した。今後さらなる連携により、優れた技術が次々と世の中に出ることを期待している。

は歯科医院向けの口臭センサーを開発し、ヨシダから販

用いた高感度硫化物センサーにより測定時間

幅に短縮され、新商品の発売につながった。

の検知も可能になる。開発機構との共同研究によりこのセンサーの

粒子を用いると応答速度が極めて速い酸素センサーが実現できることが見いだされ、当社

の発売によって期間が大

水素検知視野

大気圧―高真空の広い圧力範囲で水素を検知できる技術は、水素

の検知も可能になる。開発機構との共同研究によりこのセンサーの

種が含まれるが、そのセンサーが実現できることでも揮発性硫化物が口臭と関係がある。口の技術者との交流を重ねる中で、この材料が評価できることを見だし、世界に先駆けてニオイセンサーを実用的に検知しなくてはな

口臭検査を簡単・迅速に



図1

図2

現在、宇宙航空研究

(木曜日に掲載)

鈴木健吾

(木曜日に掲載)